

V. 学修の成果に係る評価及び卒業及び修了の認定に当たっての基準

1. 単位認定(履修要綱)

- 1) 授業科目の単位は、授業時数の2/3以上出席履修し、かつ試験に合格したときに認定される。
試験は必ずしも筆記試験によらないで、演習成績、学修態度、報告書などをもってその全部又は一部に代えることができる。
- 2) 授業科目の単位は、45時間の学修をもって1単位とする。ただし、この学修時間には教室外における自学自習も含めて計算する。その割合は授業形式によって異なり次のように定められている。したがって残余の時間は自宅、図書館等における自主学習にあてねばならない。
 - ①講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - ②実験・実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲内で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - ③芸術等の分野における個人指導による実技の単位については、別に定めるところによる。

2. 成績評価(履修要綱)

- 1) 各授業科目の毎学期末成績は、100点法によって評価し60点以上を合格、59点以下を不合格とする。
 - ①学生に通知する成績は100点法で示される。
 - ②学外に発行する成績証明書については、90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可とし、59点以下は記載しない。
- 2) 学修の成果を示す指標として、学期末に通知する成績通知書に「当期f-GPA」、「年間f-GPA」、「累積f-GPA」を、学外に発行する成績証明書に「累積f-GPA」を記載する。

①GP(グレード・ポイント)及びf-GPA(ファンクショナル・グレード・ポイント・アベレージ)は次の計算式により算出する。

【成績評価とグレードポイント】 $GP = (\text{各科目の成績評価の得点} - 55) / 10$

評価	得点	GP	GPに対応した評価基準
秀	90~100	3.5~4.5	到達目標の全ての観点を十分に達成、もしくはそれを超えて達成しており、極めて優れている。
優	80~89	2.5~3.4	到達目標の全ての観点を十分に達成しており、優れている。
良	70~79	1.5~2.4	到達目標の全ての観点をおおむね達成しており、良好である。
可	60~69	0.5~1.4	到達目標のいくつかを最低限達成しているが、不十分な点も見受けられる。
不認定/再試	0~59	0	到達目標をほとんど達成していない。
追試/保留/通年科目の途中評価	対象外		

【GPに対応した評価割合】

GP	4.5~3.5	3.4~2.5	2.4~1.5	1.4~0.5	0
成績評価割合	5~20%	15~30%	30~40%	10~30%	特に定めない

- ②f-GPAに算入する科目は卒業に必要な単位とする。
- ③「当期f-GPA」、「年間f-GPA」、「累積f-GPA」の算出方法は次のとおりとする。

$$\text{当期f-GPA} = \frac{\{(\text{当該学期に履修登録した科目のGP}) \times (\text{当該科目の単位数})\} \text{の合計}}{\text{当該学期に履修登録した科目の総単位数}}$$

$$\text{年間f-GPA} = \frac{\{(\text{当該学期に履修登録した科目のGP}) \times (\text{当該科目の単位数})\} \text{の合計}}{\text{当該年度に履修登録した科目の総単位数}}$$

$$\text{累積f-GPA} = \frac{\{(\text{当該学期までに履修登録した科目のGP}) \times (\text{当該科目の単位数})\} \text{の合計}}{\text{当該学期までに履修登録した科目の総単位数}}$$

3. 修了の認定に当たっての基準

1) 研究科

研究科	専攻	課程	修業年限(年)	必要修得単位数(単位以上)	科目区分ごとの修得単位数(単位以上)		修得可能な学位及び専攻分野の名称	備考
					必修	選択		
薬学研究科	薬学専攻	博士課程	4	34	16	18	博士(薬学)	博士前期課程及び修士課程は、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 博士後期課程、4年生博士課程は、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
人間生活学研究科	食物学専攻	博士前期	2	30	14	16	修士(食物学)	
	生活環境情報学専攻	博士前期	2	30	8	22	修士(生活環境情報学)	
	児童学専攻	博士前期	2	30	8	22	修士(児童学)	
	心理学専攻	博士前期	2	34	24	10	修士(心理学)	
看護学研究科	看護学専攻	博士前期	2	32	6	26	修士(看護学)	
		博士後期	3	18	12	6	博士(看護学)	
総合政策学研究科	総合政策学専攻	修士	2	30	10	20	修士(総合政策学)	
文学研究科	地域文化専攻	博士前期	2	32	0	32	修士(文学)	
		博士後期	3	8	8	0	博士(文学)	
工学研究科	システム制御工学専攻	博士前期	2	30	12	18	修士(工学)	
		博士後期	3	8	0	8	博士(工学)	
	ナノ物質工学専攻	博士前期	2	30	16	14	修士(工学)	
		博士後期	3	8	8	0	博士(工学)	

2) 専攻科

専攻科		修業 年限 (年)	必要修得 単位数 (単位以上)	科目区分ごとの 修得単位数 (単位以上)	
				必修	選択
音楽専攻科	器楽専攻	1	30	12	18
	声乐専攻	1	30	26	4
人間生活学 専攻科	人間生活学専攻	1	30	6	24
	児童学専攻	1	30	10	20
助産学専攻科		1	36	36	0

4. 卒業の認定に当たっての基準

1) 大学

学部	学科	修業 年限 (年)	必要修得 単位数 (単位以上)	科目区分ごとの修得単位数				修得可能な学位 及び専攻分野の名称
				一般総合科目 (単位以上)		専門教科科目 (単位以上)		
				必修	選択	必修	選択	
人間生活学部	人間生活学科	4	124	14	12	22	76	学士(人間生活学)
	食物栄養学科	4	124	14	12	30	68	学士(食物栄養学)
	児童学科	4	124	14	12	6	92	学士(児童学)
	メディアデザイン学科	4	124	14	12	8	90	学士(情報)
	建築デザイン学科	4	124	14	12	44	54	学士(住居学)
	心理学科	4	124	14	12	6	92	学士(心理学)
音楽学部	音楽学科							学士(芸術学)
	ピアノ・声楽・管弦打楽器・音楽クリエイター&アーティストコース	4	124	14	12	38	60	
	音楽療法コース	4	124	14	12	44	54	
薬学部	薬学科	6	186	19	0	161	6	学士(薬学)
総合政策学部	総合政策学科	4	124	14	12	14	84	学士(総合政策学)
保健福祉学部	人間福祉学科	4	124	14	12	48	50	学士(社会福祉学)
	看護学科	4	127	14	0	108	5	学士(看護学)
	理学療法学科	4	124	14	0	109	1	学士(理学療法学)
	診療放射線学科	4	124	16	0	107	1	学士(放射線学)
	臨床工学科	4	124	14	6	91	13	学士(臨床工学)
	口腔保健学科	4	124	14	6	91	13	学士(口腔保健学)
文学部	日本文学科	4	124	18	8	28	70	学士(文学)
	英語英米文化学科	4	124	14	12	26	72	学士(文学)
	文化財学科	4	124	14	10	18	82	学士(文学)
理工学部	機械創造工学科	4	124	14	12	40	58	学士(工学)
	電子情報工学科	4	124	14	12	41	57	学士(工学)
	ナノ物質工学科	4	124	14	12	39	59	学士(理工学)
香川薬学部	薬学科	6	186	13	6	163	4	学士(薬学)

2) 短期大学部

学科	専攻	修業 年限 (年)	必要修得 単位数 (単位以上)	科目区分ごとの修得単位数				修得可能な学位 及び専攻分野の名称
				一般総合科目 (単位以上)		専門教科科目 (単位以上)		
				必修	選択	必修	選択	
生活科学科	生活科学	2	62	8	0	2	52	短期大学士(生活科学)
	食物	2	62	6	2	36	18	短期大学士(食物)
保育科		2	62	6	2	23	31	短期大学士(保育)
言語コミュニケーション学科		2	62	8	0	4	50	短期大学士(言語文化)
音楽科		2	62	8	0	2	52	短期大学士(音楽)
商科		2	62	8	0	8	46	短期大学士(商科)